

応用生命化学専攻／応用生命工学専攻
修士課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。

<A日程>

1. 出願期間

令和6(2024)年6月19日(水)10時から6月25日(火)17時
出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語(英語)

本研究科で実施するTOEFL-ITP(LEVEL1)を受験すること。
詳細は募集要項「7. 筆記試験(外国語)について」を参照のこと。

(2) 専門科目

基礎化学を必修とし、これに加えて以下の選択科目、1) 分析化学、2) 生物化学、3) 有機化学・天然物化学、4) 微生物学、5) 分子生物学、6) 植物生理学・植物栄養学・土壌学、7) 食品科学の7科目の中から3科目を受験時に選択すること。

ただし、応用生命工学専攻の生物情報工学および生命情報解析のみを志望する者は、上記7科目の中から受験時に選択した1科目と、8) 生命情報科学の2科目に代えることができる。

また、「基礎化学」はこれまでの一般教育科目に準ずる基礎的な内容を出題する。
試験は対面による筆記形式(日本語で出題、日本語又は英語で解答)で実施する。

3. 口述試験

本専攻は口述試験を実施しない。

4. 試験期日

試験科目		日 時	試験会場
筆記試験	外国語 (TOEFL-ITP)	令和6(2024)年8月8日(木) 9:15~11:45	受験者心得で 通知する。
	専門科目	令和6(2024)年8月8日(木) 選択科目13:00~15:45 基礎化学16:00~17:00	

(注) 試験時間は変更される可能性がある。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～ク、コ及びサを提出すること。「サ 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

確認書 (二通)	本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること
-------------	---

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和6(2024)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「コ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①第1志望の専攻と第2志望の専攻が異なる場合（応用生命化学専攻出願者が応用生命工学専攻の専門分野を、応用生命工学専攻出願者が応用生命化学専攻の専門分野を、第2志望とする場合）は、第1志望の専攻に出願すること。

②指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

③志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第2志望まで、専門分野と教員名の両方を入力すること。第1～第2志望欄には、異なる専門分野の教員を入力すること。どうしても第2志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

④試験科目欄の「専門科目」欄は入力しなくてもよい。 ※受験時に選択

⑤履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

⑥学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育学歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 出願書類として第1及び第2志望の指導教員の両名の署名入りの確認書（二通）の提出が必要となるため、出願前に余裕を持って2名の志望指導教員へ連絡すること。

(3) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、応用生命化学専攻または応用生命工学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

<B日程>

1. 出願期間

令和6(2024)年11月21日(木)10時から11月27日(水)17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語(英語)

TOEFL-iBTまたはTOEFL-iBT Home Editionの公式スコアを提出すること。

提出方法は募集要項「7. 筆記試験(外国語)について」を参照のこと。

なお、本専攻では出願時にスコア取得済みであることを必須とする。

すなわち、出願時にWeb出願システムで「(ア)提出するスコアが決まっている(スコア取得済み)」を必ずチェックし、出願期間中にWeb出願システム上で、次の(a)と(b)を行うこと。

(a) 提出するスコアのAppointment Numberと受験日を登録(入力)する。

(b) 上記(a)のTest Taker Score Reportのスクリーンデータ(PDF)をアップロードする。

(2) 専門科目

基礎化学を必修とし、これに加えて選択科目、1)分析化学、2)生物化学、3)有機化学・天然物化学、4)微生物学、5)分子生物学、6)植物生理学・植物栄養学・土壌学、7)食品科学の7科目の中から3科目を出願時に選択すること。

ただし、応用生命工学専攻の生物情報工学及び生命情報解析のみを志望する者は、上記7科目の中から出願時に選択した1科目と、8)生命情報科学の2科目に代えることができる。

また、「基礎化学」はこれまでの一般教育科目に準ずる基礎的な内容を出題する。

試験は対面による筆記形式(英語で出題、英語または日本語で解答)で実施する。

3. 口述試験

本専攻は口述試験を実施しない。

4. アドミッションズ・オフィス(AO)方式による選考

希望者についてAO方式による選考を実施する。詳細は「応用生命化学専攻・応用生命工学専攻修士課程B日程AO方式による選考に関する補足説明」を参照のこと。

AO方式による選考通過者は筆記試験が免除される。また、AO方式による選抜が「否」と判定された場合でも、一般選抜または社会人特別選抜を受験することができる。

5. 試験期日

令和7(2025)年1月30日(木)～2月7日(金)に実施する。

試験日時その他の詳細は、令和7(2025)年1月上旬に電子メールで送付する受験者心得で通知する。

6. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～サを提出すること。「サ 専攻が提出

を求める書類」は以下の表の書類を提出すること従うこと。

確認書 (一通)	本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること。
-------------	--

7. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「コ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

8. その他

- (1) 本専攻のB日程出願者は、募集要項「1. 出願資格」の(2)及び(3)に限る。ただし、日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者についても、初等、中等教育も含めて日本語以外の言語で教育を受けるプログラムの卒業(見込み)者の場合、出願対象審査を行うので、令和6(2024)年10月9日(水)までに農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)に申し出て、その指示に従うこと。審査の結果、認められた者について出願を受け付け、受験を許可する。
- (2) Web出願システム入力の際の注意事項
 - ①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。
 - ②志望専門分野及び志望指導教員名欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ、専門分野と教員名を、第1志望欄のみ入力すること。第2志望は入力しなくてよい。
なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。
 - ③試験科目欄の「専門科目」欄には受験する科目を入力すること。 ※出願時に選択
 - ④履歴事項は大学卒業(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。
 - ⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)へ問い合わせること。
- (3) 出願書類として志望指導教員の確認書の提出が必要となるため、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡すること。
- (4) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。
- (5) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、応用生命化学専攻または応用生命工学専攻(募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照)に問い合わせること。
- (6) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)まで、余裕を持って問い合わせること。